

報道機関各位
(埼玉県政記者クラブ、さいたま市記者クラブ)

日本赤十字社埼玉県支部
令和6年10月29日

首都直下地震を想定した医療救護訓練を実施します 救護班の巡回診療をシミュレーション

日本赤十字社埼玉県支部(支部長:大野元裕埼玉県知事)は、11月2日(土)さいたま市内を会場に、首都直下地震を想定した災害救護訓練を実施します。

自然災害の頻発化、激甚化、広域化が懸念される中、円滑に救護態勢を整え、相互に連携して統制のとれた救護活動を行えるよう実践力を強化する狙いです。

訓練は、発災3日目の想定とし、県内外の赤十字病院から駆け付けた医療救護班が本部と連携しながら、避難所に見立てた市内4カ所の施設でアセスメント(環境評価)・巡回診療を行います。

今回は、令和6年能登半島地震災害でも現地で活動した救護経験豊富な医師や、埼玉県保健医療部・さいたま市保健所の職員、近隣県支部(群馬)の救護班も参加し、より実践的な内容としています。

■ 概要

【日 時】 令和6年11月2日(土) 9:00~16:30 ※一部のみのご取材も可能です

目安) 9:30 救護班本部到着・活動指示・避難所に出発(この後は、本部活動・救護班は巡回診療)
15:15 救護班本部帰着・帰還報告、15:30 さいたま医療圏保健医療調整本部会議
16:00 訓練全体の振り返り・講評

【場 所】 日本赤十字社埼玉県支部(さいたま市浦和区岸町3-17-1)ほか市内4カ所

【参加者】 赤十字病院(さいたま・小川・深谷・前橋)医療救護班、県内赤十字施設職員、埼玉県保健医療部・さいたま市保健所、ボランティア・県立常盤高校生徒・日本赤十字看護大学さいたま看護学部学生(傷病者役)

など17団体約150人

【内 容】 (1) 救護班活動訓練(避難所巡回・診療・アセスメント)

(2) 日赤県支部災害対策本部設置・運営訓練 (3) 日赤災害医療コーディネーターチーム実働訓練



■ 取材について

ご取材いただける場合は、**11月1日(金) 16時まで**に裏面「取材連絡票」の送付をお願いします。

【連絡・問合せ先】

日本赤十字社埼玉県支部 総務部 総務課 若佐

広報担当者連絡先: 090-7255-1766 FAX: 048-834-1520 E-mail: koho@saitama.jrc.or.jp

取材連絡票

FAX : 048-834-1520

取材案件名	日赤埼玉県支部災害救護訓練
御社名	
部署名	
担当者名	
連絡先 ※今後当社から取材関連のご連絡をさせていただきます	TEL : e-mail :
媒体名	
取材目的・ご希望	
放送・発行予定日	<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 <input type="checkbox"/> 未定
スタッフ数・機材	(<input type="checkbox"/> ^人 カメラ . <input type="checkbox"/> スチール)
放送・発行内容の 転載可不可	<input type="checkbox"/> 可 . <input type="checkbox"/> 不可 . <input type="checkbox"/> 応相談
駐車場の要否	<input type="checkbox"/> 必要 . <input type="checkbox"/> 不要